

2018年3月3日 10時半-12時 2階控え室後方において(参加者 約15名ほど)
議題: 幼児教員から提出された報告書に対して、保護者からの感想、今後の対応策や提案などの意見交換を行う

感想

- ・実際こんなにも先生方がお仕事されているということに、びっくりした。
- ・今年7人も先生がお辞めになると聞いて、正直びっくりした。
- ・新しい先生を探すのが大変だということも知り、考えさせられた。
- ・センターとして何か対策を考えねばと思った。

授業に関すること

コピーに関すること)

- ・現在教材コピーが大量で、係りも大変だし、ミスがあったプリントなどは完全に資源の無駄使いになるので、なるべくコピーを減らす方針にする必要があると思う。
(現在コピーによる教材が多い理由は、センターの学習内容に密着した教材は容易に見つけにくいいため、教員が独自で制作していることが多いから)

教材とコピー削減の対策案)

- ・学年毎に各自が持参使用する教材(ワークブックもしくはドリル)を新たに定め、それを積極的に授業と宿題で使う。結果、コピーの量も減り、資源も時間も無駄を減らせるのでは?
- ・ワークでの宿題の採点は保護者が家庭で済ませる。
- ・ワークブックについては、先生方にどれが良いか推薦してもらい、一年の試験的使用を経て最終決定するのが望ましいだろう。
- ・成人クラスの教材、教科書に関する問題(大量コピーによる教材の代品はないか?)
- ・日本からの輸送方法に関してはアマゾンではなく業者を使って購入しては?ポイントなど溜めて活用してはどうだろうか。(※4月に提案し、準備を始める承認をとる必要がある)

カリキュラムに関すること)

- ・現在のカリキュラムでは実際どんな学習がいつどのように行われるのか明白でないため、これだけ見ても保護者もおそらく教員も全くわからないと思う。
- ・学年のクラスが複数化しているので、工作や宿題などは学年でできるだけ統一しては?
- ・来年度4月より先生方に毎週の授業内容を保護者に提出してもらおう際、改善係にもccで送ってもらい、改善係内の担当者(またはボランティア)でそれらを収集・仕分けして保存する。
- ・その仕分けしたデータをウェブに載せ、規定のカリキュラムとすることで、見たい人は見られるようになる。したがって毎週の克明な週間報告の必要性はなくなり、必要に応じた連絡事項程度で済むようになるのでは?

毎週の授業報告に関して)

- ・欠席した時にあると助かるが、大変な負担だろうし、もっとシンプルなものでもいいと思う。

工作に関すること)

- ・工作の下準備を、固定アシスタントと保護者がもう少し手伝っては?
- ・行事(ひなまつりや節分、子供の日など)によっては前もって具体的な工作の案や日程がわかっているれば、保護者も準備のお手伝いしやすいかもしれない。
- ・先生に事前に用意してもらうことで、先生にプレッシャーを与えることにならないか。
- ・1ドルショップでも物価が上がり、教材費\$10でやりくりするのは至難の技であろう。では、各自10ドルを初日に現金で集金して資金にしてもらっては?(会計を通さない。教員が直接もしくはクラス代表が集金)
- ・教員によっては保護者からの集金がプレッシャーとなり余計な仕事が増えるのでは?
- ・教材はセンターにあるものでやるのは? -すでにされているが、難しい。
- ・教材室の教材や工作用具をもっと充実させては? -以前よりはかなり充実しているが。
- ・場所の問題もあるのでこれ以上増やすのは難しいのでは?

センターの運営に関すること

教員の待遇に関すること

- ・給料体制を適正価格へしてあげるべき。（提案：授業時間＋準備で週3時間半分の支給）
- ・ただ授業料を上げるなどで対応できればいいが、どこまで上げれるか実際分からない。
- ・できれば支給してあげたいが、授業料を上げるという他に違った形で改善できる道を探せないだろうか。
- ・待遇改善の意味では、給料と共に仕事を簡素化軽減することを考えるべきでは？（上記にもあった：週間報告メール、工作、教材作り、保護者との連絡、授業内での補助員確保、など）
- ・来年度は幼児1と2のクラスが（翌2019年度以降は全幼児が）1クラス18人体制になるため、現在各クラス2人ずつ固定・有給のアシスタントが配置されている。それを、固定（有給）のアシスタントは1人にし、日直当番の保護者が第二のアシスタントとして週替わりで入るというのはどうだろうか？
- ・結果、4人分の年間謝礼金（約\$1600）が浮き、役員を一人増加可能になる。
- ・毎週人が変わることで不安定感はあるが、保護者が日常的なクラスの様子、自分の子供の様子、活動の内容をより知る良いきっかけになり、家庭でのサポートの仕方、また教員ははじめセンターへの協力がより深まることにもつながるかもしれない。
- ・先生の負担を減らすため、固定アシスタントが日直当番保護者への指示を与える。

クラス代表制度

- ・主にクラス内の保護者をまとめ、先生と保護者間の連絡係りになる。（工作・アクティビティの保護者手伝いの要請、日直掃除当番の変更の管理、教材費の集金など）
- ・もし、正式設置になった場合は2019年度は係りの一部としては？（行事係りリーダーと同じ待遇として週当番免除など）
- ・行事（係）希望徴収の前に確定されないといけないという課題があるため、教員に翌年のクラス編成を早めに決定してもらい、クラス代表を決めてから係の希望徴収をする必要がある。（*4月に提案し、ボランティアを募る、2学期から試験的に活動を始めてみる）

教務を専門的に担当する第3の副代表を設定する

- ・教員との連絡や児童や教務関係の管理に関しては現在副代表の仕事であるが、内容は多岐に渡り複雑で、教員経験がない保護者では仕事内容を把握し判断するのが非常に大変な場合もある。そこで、教員経験者である1人を教務主任として迎え、役員の一部に設定し教務を専門的に引き受けてもらうことで、副代表は運営の仕事により専念できるのではないか。
- ・カリキュラムの見直し、クラス編成、教員の相談に乗るなど。
- ・センターに常任しているので、緊急事態（代講）や生徒指導にもその場で対応が可能になる。（*具体的に職務内容を明確にする必要がある。）

行事に関すること

- ・文集は学習として本当に必要か？どれだけの人が見ているか？
- ・発表会が大変と聞く。どうにか手伝えないか？
- ・お題を学年毎に固定してしまう。
- ・合唱コンクールにするなど？
- ・保護者主体ですすめていくのも一案。
- ・児童は高学年になればなるほど、モチベーションも減るので、なくてもいいのでは？
- ・幼児はかわいいので楽しみにしている親も多いが、他の形でもいいのでは？
- ・忙しい3学期、最終日という時期が厳しい（お別れの挨拶さえ慌ただしい）

その他

- ・お金を動かすより人を動かし、労働（ボランティア）で改善できる部分はするべき。
- ・センターの予算に余裕がないので、授業料の増加とは別の形でお金を集める方法はないか？
- ・授業料値上げの前に、保護者のボランティア活動による集金を考えては？

(一例として)

- ・バザーを復活させる。売上金で教材費と図書の充実化を目的とする。
 - ・係りの一つにバザー係りを追加し、きずなの方々されているような小規模で度々行う。
 - ・補習校のように子供達も休み時間に買いにこれるように提供しては？
 - ・子供には買いやすいように安い金額で売る。
-
- ・行事のミーティングにこない、当日行事にでてこない非協力的な保護者に対する対応は？
 - ・当番の日に代行者なしに欠席する保護者がいると、その日の業務に支障が出る。
 - ・授業料の支払いが遅れる保護者への対応なども検討すべき（現在特に罰則などはない）
 - ・教員の報酬を見直すと共に、生徒数増加化により重責である役員の報酬も見直すべきでは。